

公開シンポジウム「黄砂および 大気汚染物質の越境輸送問題」

主催：日本学術会議農学委員会風送大気物質問題分科会・日本沙漠学会・科研費「DNA黄砂」研究会・琉球大学農学部

日時：2009年2月20日（金）10:00～17:00

場所：おきでんふれあいホール（那覇市旭町114-4、098-867-3241）

- 1.黄砂粒子の最表面状態 八田 珠郎（国際農林水産研）
- 2.中国甘肅省敦煌の黄砂特性および寧夏自治区靈武の無灌水利林効果
真木太一（琉球大）
- 3.中国ゴビ砂漠付近の砂塵嵐と九州地方の黄砂観測について 早川誠而（山口大）
- 4.日本における黄砂由来口蹄疫ウィルスのDNA鑑定に関する研究
山田パリーダ（筑波大）
- 5.黄砂の発生における病原菌及びアレルゲン物質の移送に関する研究
磯田博子（筑波大）
- 6.沖縄の黄砂 栽 吉信（沖縄気象台）
- 7.東アジア起源の黄砂の長距離輸送と気候インパクトについて
三上正男（気象研）
- 8.中国北西部の黄砂発生気象特性と最近の黄砂観測 杜 明遠（農環研）
- 9.東アジアにおける越境大気汚染について 高見昭憲（国立環境研）
- 10.総合討論 座長：鈴木 義則（九州大・名誉教授）

交流会（18～20時） サザンプラザ海邦 会費 6,000円

シンポジウム参加（無料）・交流会参加（有料）の申込先（期限：2月10日）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大農学部 真木太一

Tel・Fax：098-895-8784 E-メール：maki1944@agr.u-ryukyu.ac.jp